

# まかしの木

第60号

2019年3月号

発行 (社福) 聖ヨハネ会  
高齢福祉部門  
広報委員会

〒184-0005  
東京都小金井市桜町1-2-24  
電話 042-381-1234  
桜町聖ヨハネホーム

## 映画『パウロ 愛と許しの物語』を観て

ヨハネ会高齢福祉部門 統括施設長 藤井 律治  
桜町聖ヨハネホーム園長

『映画 パウロ愛と許しの物語』のことをお伝えしたいと思う。キリスト教の雑誌や新聞で知り、最終日ぎりぎりの頃、妻と観に行けることが出来た。映画には、パウロの宣教と初期のキリスト教信徒へのローマ帝国による禁教と残酷な弾圧が描かれていた。捕えられ生きていながらにして、火をつけられ殉教を遂げていくキリスト教信徒の姿、牢に入っているパウロへの鞭打ちのシーンなど…最初から残酷な弾圧の様子があった。その中で、キリストの教えをいかに守るか、伝えるか、パウロとキリスト信徒たちの生き方が描かれていた。徹底した暴力による弾圧は、その権力が絶大なだけに、現実の中でどうにもできない状況であったことは恐怖のほか何ものでもなかったように思われる。希望が持てない現実の中で、戦いをと考える者、安全な地を求める者、苦しみによる苦しみが続き、観ていて、自分自身も苦しくなっていた。どうにもならない、その真っ只中で、死を身近にした信徒たちが集まり、今の私たちにも継承されている『主の祈り』を祈るシーンが出てきた。自分たちの死が迫るという中での祈りは、皆が真剣に「主に祈る時」であり、また平安な時として描かれていた。力には力でなく、愛と許しである『主への祈り』であるように。

パウロは、最初キリスト信徒を厳しく弾圧する立場にいたが、いかに直接、神様から愛されて回心されたのか、そこから真理であるキリストへの愛を伝えるために、いのちをかけて、生涯をかけて伝道していったのかを思った。それは、キリストと出会い、希望が見えない現実の中、この世で



栄養部による好評 おやつ作りシリーズ  
リリーでのふれあい 栄養部スタッフと

あっても、変わらず、愛を求める生き方だと感じた。昨日の朝、その日の聖書の場所を開くと、ヘブライ人への手紙であった。このようなパウロの言葉に触れるときキリスト、そしてパウロの時代から今繋がり、また未来に繋がっていると感じ、信仰に大きな慰めと勇気をもたらした。

ヘブライ人への手紙12章5節～7節

また子供たちに対するようにあなたがたに話されている次の勧告を忘れていません。「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけません。主から懲らしめられても、力を落としてはいけない。なぜなら、主は愛するものを鍛え、子として受け入れる者を皆、鞭打たれるからである。」あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。神は、あなたがたを子として取り扱っておられます。いったい、父から鍛えられない子があるのでしょうか。

# 新しい取り組み ～「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」～

## 暮らしの安心がえられるまちづくりに取り組む ～「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」～

小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター 山極 愛郎  
センター長

本町センターは、2017年4月に「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」（以下「みんな愛ネット」）を地元けき通り商店会長の益田さんとともに立ち上げました。

きっかけは、商店会が行った2016年度の調査<sup>(註)</sup>です。この調査で分かったことは、「買い物に便利な商店会」への期待以外に、「居場所づくり」や「見守り」、「子育ての応援」などへの“役割期待”があるということでした。もともと益田さんは「コミュニティに貢献する商店会」をつくるのが「地域から後援をしていただける商店会」になると考えておられましたが、調査によりコミュニティのニーズが明らかになったのです。

益田さんからご相談を受け、その想いに触れ、私はいつしか自分から「このような話し合いを月1本町センターに集まっていませんか？」と提案していました。これが「みんな愛ネット」の立ち上げのきっかけです。

「みんな愛ネット」のネーミングには、「生活者である市民の暮らしの安心を実現するために、各人が主体となり互いに愛をもって支え合う関係をつくる」という思いを込めています。ですので、活動は自主であり、上下関係ではなく横の関係で、組織・業種・年齢・性別・立場などを超えた仲間の輪で繋がっています。

この超党派的な仲間の輪の良いところは、コミュニティの課題克服に関し、様々な可能性を感じさせてくれるところにあります。実際、話し合いに参加していただくと思いがけず分かっていただけると思いますが、日頃、個人や所属する団体の限界で頭打ちされているようなことも皆さんから知恵や出来る事を教えてもらうと、「これならなんだかやれそう！」という気持ちになります。そして、実際に活動してゆくと成果を実感するようになります。誰かがいつかなんとかしてくれる！と考え、待っていても、実は何も変わりません。むしろ、悪化したり、困難な状況に陥ったりすることのほうが多いのではないのでしょうか。

コミュニティの課題は、生活者が主体となれる場をまずは創ること。その場は、互いの悩みをわかちあえる場であり、労いの場であり、励ましの場であり、希望や勇気に満ち溢れた場であることが望まれます。だから、集う人たちに愛がないとそういう場は創ることはできないと思っております。その点で、「みんな愛ネット」は「共助」の土台として愛ある集い（場）と感じます(笑)。

そのようなわけで暮らしを営むうえで悩んでいる方がいらしたら、ぜひ私たちと一緒に話ししてみませんか？私たちの活動の詳細は、ネットで「小金井市 本町センター」で検索し、本町センターホームページの「地域交流」欄を覗いてみてください。どうぞよろしくお願いいたします。



(註:「けき通りの元気なコミュニティづくり事業のための調査」)  
平成28年度地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(地域商業自立促進事業)

## 在宅サービス部の活動・行事をご紹介します。

### 桜町センター



クリスマス週間ではたくさんのイベントボランティアの方がクリスマス会を盛り上げて下さいました。  
 ①ハーモニカアンサンブルの皆様です。毎年クリスマスに素敵な演奏を披露して下さいます。②ご利用者様も積極的に参加して下さい、楽しいイベントになりました。③チェリーベルの皆様です。素晴らしい音色で素敵なクリスマスを演出して下さいました。



### 本町センター



①ヘルマンハーブの優しい音色に皆さんうっとり聴き入っていらっしゃいました。



②アルパの楽器と華やかな衣装に魅了されました。



③おやつはケーキとコーヒー・紅茶を召し上がりました。



④珍しい南米楽器の紹介もあり心温まる演奏を楽しみました。

クリスマス週間には毎日イベントボランティアさんによるコンサートが開かれました!



⑤職員扮するサンタとトナカイと一緒にパチリ

金曜日ティータイム

ヨハネホームでは、ボランティアの方々のご協力により、金曜日において、「金曜ティータイム」という喫茶の時間を、設けております。



12月7日に実施された、「金曜ティータイム」では、ボランティアの方々の、素敵なハンドベルのコンサートが実施されました。クリスマスのある12月にふさわしい、素敵なメロディをBGMに、ご利用者様達も楽しい、喫茶のお時間を過ごされていました。

ボランティア

生活ボランティア（桜町聖ヨハネホーム 洗濯ものたたみ） レイチェル・ローゼさん

- ①桜町聖ヨハネホームでのボランティア活動歴は？  
→18年間、ホームでボランティアをしています。
- ②ヨハネホームでボランティアを始めたきっかけは？  
→ボランティアで活動できる場所を探していた時に、シスターの紹介で、ヨハネホームを教えてくださいました。
- ③レイチェルさんにとって、ボランティア活動とは？  
→私は、自分の手で様々な人に奉仕することが出来ます。様々な人に奉仕することは私にとって、幸せです。  
(レイチェルさんはアメリカのご出身で、24歳の時に宣教師活動に参加され、世界中で活動をされました。)



今後の予定

桜町聖ヨハネホーム

2月2日～3日  
節分豆まき、節分の行事食  
3月3日 ひな祭り  
3月16日 ボランティア懇談会

桜町センター

2月3日 節分  
3月3日 ひな祭り  
3月27日 ホーム・センター  
合同防災訓練

本町センター

2月2日 節分  
2月26日 しんあい保育園  
来所  
3月2日 ひな祭り



【編集後記】

インフルエンザが猛威を振るった冬も過ぎました。新しい年号と共に踏み出す春が、皆さまにとって、こころ温かいトキでありますように。私達の地球星が、平和でありますように。(Y)

ヨハネ会HP



サイトへようこそ!